

○第18回つやまロボットコンテスト ルールブック（高校一般の部） 新旧対照表

H25.6.28 改訂（第2版→第3版）

番号	旧（初版）	新（第3版）
4-6	「短冊」は板厚 3.0mm の Al-Mg 系合金を用いて、縦 150mm × 横 50mm、重量 約 40g の形状に加工したものとする。	「短冊」は板厚 3.0mm の Al-Mg 系合金を用いて、縦 150mm × 横 50mm、重量 約 47g の形状に加工したものとする。

H25.6.22 改訂（初版→第2版）

番号	旧（初版）	新（第2版）
3-1-4	ロボットの構造として、分離する構造は認めない。また、実行委員会から支給される「短冊」を保持できる構造とし、対面する面2面（上下面は除く。）に 50mm 角のカラーシール貼付面を用意すること。カラーシールは競技時に配布する。	ロボットの構造として、分離する構造 及び飛行する構造 は認めない。また、実行委員会から支給される「短冊」を保持できる構造とし、対面する面2面（上下面は除く。）に 50mm 角のカラーシール貼付面を用意すること。カラーシールは競技時に配布する。
4-1-3	予選においては、 競技フィールドのスタートライン からフィニッシュラインをロボット後端が通過するまでの時間を記録する。	予選においては、 審判による開始の合図 からフィニッシュラインをロボット後端が通過するまでの時間を記録する。
4-5-1	ロボットは、「短冊」を保持した状態でロボット配置エリアからスタートラインを越え、競技フィールド内に配置された 障害物 （障害物を「ハシゴ①」「ハシゴ②」「ハシゴ③」「ハシゴ④」「サクラの枝」「ハードル」「不整地①」「トンネル」「不整地②」「平均台」 と言い、競技場図で示す。 ）を越え、フィニッシュラインを通過する。	ロボットは、「短冊」を保持した状態でロボット配置エリアからスタートラインを越え、競技フィールド内に配置された障害物を「ハシゴ①」「ハシゴ②」「ハシゴ③」「ハシゴ④」「サクラの枝」「ハードル」「不整地①」「トンネル」「不整地②」「平均台」 の順に 越え、フィニッシュラインを通過する。
4-8	ロボットが 自ら 転倒した場合、自力で立ち上がる。ただし、操縦者は競技中、一試合につき1回限りリスタートを申告することができる。審判は申告に基づき試合を中断し、申告のあったチームメンバー1名がロボットをフィー	ロボットが転倒した場合、自力で立ち上がる。ただし、操縦者は競技中、一試合につき1回限りリスタートを申告することができる。審判は申告に基づき試合を中断し、申告のあったチームメンバー1名がロボットをフィー

【第18回つやまロボットコンテスト ルールブック（高校一般の部）新旧対照表】

	ルド外に搬出する。搬出後、審判は速やかに競技を再開する。フィールド外に搬出したロボットをフィールド内に戻す時は、操縦者が審判に対して、ロボットを戻す申告をすることにより、競技に復帰することができる。リスタートの位置はロボット配置場所とする。	外に搬出する。搬出後、審判は速やかに競技を再開する。フィールド外に搬出したロボットをフィールド内に戻す時は、操縦者が審判に対して、ロボットを戻す申告をすることにより、競技に復帰することができる。リスタートの位置はロボット配置場所とする。
4-10-2	以下の行為を反則行為とする。 (1) 故意に相手ロボットを押したり転倒させたりする行為。 (2) 「短冊」を故意に変形する行為。 (3) 相手の反則行為を誘発する行為。 (4) 本ルールブックに定める規定に違反する行為。	以下の行為を反則行為とする。 (1) 故意に他チームのロボットを押したり転倒させたりする行為。 (2) 「短冊」を故意に変形する行為。 (3) 相手の反則行為を誘発する行為。 (4) 本ルールブックに定める規定に違反する行為。
4-11-1	失格行為。 (1) 故意に相手のロボットを破壊する。 (2) 故意に競技フィールド及び障害物を破損する。 (3) チームが予選において2回の競技とも試合開始時刻に遅刻したとき。 (4) 審判の注意や指示に従わない。	失格行為。 (1) 故意に他チームのロボットを破壊する。 (2) 故意に競技フィールド及び障害物を破損する。 (3) チームが予選において2回の競技とも試合開始時刻に遅刻したとき。 (4) 審判の注意や指示に従わない。